

粗大ごみの直接搬入 大量の場合は事前に連絡を

粗大ごみを処理施設へ直接持ち込むとき、大量にある場合は、あらかじめ連絡をしてから持ち込んでください。目安はおおむね2トトラック1台分です。それを超える量のときは、まず、施設に連絡をしてください。

□連絡先 ▽旧市域の方Ⅱエ
コセンター恵那 26-4389
▽南部5町の方Ⅱ恵南
クリーンセンターあおぞら 0572-6512203

水切りをしっかりと

夏場は水分の多い食材を使う機会が増えますが、生ごみを出すときはよく水を切つて

ください。水切りがしっかりされていないと悪臭やカラス被害の原因になります。しっかり水切りをすれば、ごみの減量になり、処理に必要な燃料も減らせるため、経費の削減と地球温暖化防止に貢献できます。皆さんのご協力をお願いします。

野焼きは原則禁止です

野焼き(野外焼却)は、法律により一部の例外を除いて禁止されています。農業でやむを得ない焼却やたき火などは例外として認められていますが、煙があまり出ないようによく乾燥させてからにするとか、燃やす時間帯に配慮するなど、他人の迷惑とならないよう注意してください。

クール・ビズ実施中

市役所では9月末まで夏のビジネス軽装「クール・ビズ」を実施しています。ノーネクタイ・ノー上着のスタイルで冷房の設定温度を控えめに、温室効果ガスの排出削減を図るものです。

市役所へ来て暑く感じるかもしれませんが、地球温暖化防止の一環ですので、ご理解いただきますようお願いいたします。

COOLBIZ

7月の不燃・資源ごみ収集日【7月は蛍光管も収集】

町名	地区	収集日	町名	地区	収集日	
大井町	1・14区 (正家後田含む)	2日(月)	岩村町	本町、柳町、新道、江戸町	2日(月)	
	2・4区	3日(火)		新市場、日の出、日の出三、殿町	3日(火)	
	3・13区	4日(水)		西町、新町、朝日町	4日(水)	
	5・6区	5日(木)		石畑、大根洞、一色、緑ヶ丘	5日(木)	
	7・8区	6日(金)		領家、山上、大通寺、1~3区、上平、さつきヶ丘、八本木住宅、菅沼	6日(金)	
	9・10区	9日(月)		4~8区、旭ヶ丘、百合ヶ丘、下本郷	9日(月)	
	11・12区	10日(火)		山田	10日(火)	
長島町	中野(永田川東)	11日(水)	山岡町	田沢、久保原	11日(水)	
	中野(永田川西)	12日(木)		原、田代	12日(木)	
	正家(後田を除く)	13日(金)		上手向、下手向、釜屋	13日(金)	
	大洞地区	17日(火)		市場町、宮町、本町、常盤町	17日(火)	
	永田	18日(水)		東山町、雇用促進住宅、友愛	18日(水)	
	久須見	19日(木)		新井町、駅前町、滝坂住宅	19日(木)	
東野	全域	20日(金)	明智町	新町、徳間町、向町、東町	20日(金)	
	野井	23日(月)		的場町、片平町	23日(月)	
	佐々良木・椋実	24日(火)		門野、杉平、杉平2区、野志、大舟、小泉、吉良見	24日(火)	
三郷町	竹折	25日(水)	串原	上・下柏尾、岩竹、安主、土助、才坂、上・下田良子、大栗、上田、阿妻、峰山、中切、高波、馬木、小杉、落倉	25日(水)	
	藤	26日(木)		中沢	25日(水)	
笠置町	全域	27日(金)		全域(中沢を除く)	26日(木)	
	全域	30日(月)		大馬渡	25日(水)	
中野方町	全域	30日(月)		上矢作町	小笹原、島、達原、横道、飯田洞	27日(金)
	全域	31日(火)			本郷、木の実	30日(月)
飯地町	全域	31日(火)	漆原(大馬渡を除く)、下、小田子		31日(火)	

【7月の集団資源回収】

とき	実施団体・回収品目など
14日(出)	<input type="checkbox"/> 実施団体 中野方小学校PTA <input type="checkbox"/> 回収品目 新聞、雑誌、段ボール、布類、紙パック、アルミ缶、瓶類 <input type="checkbox"/> 問い合わせ 中野方小学校☎23-2004

【食用廃油の回収】7月7日(土)~9日(月)

●注意 収集するものは、食用廃油に限ります。また廃油入れとして使用したペットボトルなどの容器は、必ず持ち帰ってください。



医療情報トピックス

市立恵那病院へ新しく医師が赴任しましたので、紹介します。



おさか 琢雄 西科塚

外科 外科部長

6月より市立恵那病院に赴任してきました。今まで東濃地方には全くといっていいほど縁のなかつた私ですが、いざ赴任してみると、緑豊かで風薫る恵那の土地で自分自身が癒されていると感じています。過不足のない手術を実践することに、市民の皆さまに癒しを与えられるよう頑張ります。専門は消化器外科(食道・胃・十二指腸・小腸・大腸・肛門・肝臓・膵臓・胆のう・脾臓)です。よろしくお願ひします。



わたなべ 力也 渡辺

総合診療科 ジュニアレジデント

5月から6月の2カ月間、市立恵那病院で研修させていただいています。出身は兵庫県で、大学は隣の長野県です。4月までは東京の病院で過ごしてきました。将来的には恵那のように山に囲まれた土地で仕事を続けたいと思っています。ここでの2カ月が良い思い出になるよう、そしてまたこの地に戻って仕事をしたいと思えるよう頑張っていますのでよろしくお願ひいたします。



さいとう まこと 佐藤

総合診療科 シニアレジデント

5月より市立恵那病院で働くことになりました佐藤と申します。千葉県出身の27歳です。海のない県に住むのは初めてで、山に囲まれた恵那の風景がとても新鮮です。患者さまやその周りの人に少しでも幸せを感じていただける医療を目指して頑張りたいと思います。患者さまとともに、一生懸命考え、悩んでいきたいと思ひますのでよろしくお願ひします。

産科医療について

このたび、恵那・中津川地域の妊婦さんのお産(年間450人前後)を担ってこられた恵那産婦人科が5月15日をもって閉院となりました。これまで多くの子どもさんを取り上げてこられた産婦人科医師の「ひとやす」先生は、恵那・中津川地域の産科医療が立ち行かなくなることをご心配され、6月中旬から中津川市民病院の産婦人科で診療にあたられることとなり、当面、この地域に居住されている妊婦さんのお産が対応できる状況となりました。

総合診療とは

●今、話題になっている「総合診療医」ジェネラリスト

ようやく日本でも、個人を全体的に診る専門医の必要性が注目されてきました。一般病院では、まず総合診療医が患者さまの窓口になり、そこで、総合診療医が診察をして診断をつけて、一般的な病気が総合診療医が診療を行います。専門性が高い患者さまについては臓器専門医へ紹介し、診療を引き継ぐ役割をします。

●複数の疾患を抱えている方に

感染症や糖尿病・高血圧などのよくある病気に関して、総合診療医は診慣れているので、よくある病気に対応する専門医ともいわれまます。患者さまを一つの側面から診るのではなく、多方面から診ることによって総合的に判断することが、日常診療においては重要なのです。

原因がはっきりしない訴えや診断がつかない問題に関して、総合診療医が対応します。各科にわたる多方面の考察を行うことによって全体像を描きながら、必要な部分は専門医と相談し、患者さまをじっくり診ていくことで診断の糸口とします。

例えば、熱の原因がはっきりしないなど、一つの専門科の知識だけでは対応が難しく、トータルに診ないと診断がつかない場合も、しばしば遭遇します。よくある健康問題を中心として、患者さまをトータルに診るトレーニングを積むことの重要性が、今後の医学教育には重要だと叫ばれています。

病院の総合診療医は、地域の家医(かかりつけ医)の先生方と一緒に診て行くという姿勢で診療に従事しています。つまり皆さまの病院での主治医です。今後の地域医療連携遂行には欠くことのできない存在になると思ひます。